【株式会社ヤマウラ　健康経営戦略マップ】

従業員の健康課題

- 重症化予防・健診後フォローの不足
- 睡眠・疲労等に起因するプレゼンティーイズムの悪化
- 対人関係等に起因するストレスと部署間差の存在

健康投資

- 健診後フォロー体制強化
- 特定保健指導強化
- 要受診者フォロー運用の標準化
- 産業医・保険者連携強化
- 睡眠アンケート・睡眠教育
- 運動習慣定着支援
- 長時間労働者対応
- ストレスチェック集団分析活用
- 重点部署職場改善
- 管理職教育

健康投資効果

健康投資施策の取組状況に関する指標

- 要精密検査対象者への受診勧奨実施率
- 特定保健指導実施率
- 健診後フォロー完了率
- 産業医・保険者との協議実施回数
- 睡眠施策参加率
- 運動習慣施策参加率
- 長時間労働者対応実施率
- 高ストレス者フォロー実施率
- 重点部署職場改善実施数
- 管理職研修受講率

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

- 要精密検査受診率
- 受診・継続支援の定着
- 治療継続・受診行動の定着
- 相談窓口認知率・利用しやすさ
- 睡眠で休養が取れている割合
- 運動習慣者割合
- 平均残業時間の低減
- 高ストレス者率の低減
- 上司支援スコア・同僚支援スコアの改善
- 管理職の健康配慮行動実践度（１on１、声掛け）

健康関連の最終的な目標指標

- プレゼンティーイズムの改善
  - → 生産性向上
- ワーク・エンゲージメントの向上
  - → 組織の活性化
  - → 持続的成長の実現
- 重症化リスクの低減
  - → 安全性向上
  - → 持続的成長の実現
- 傷病休職の抑制
  - → 安全性向上
  - → 生産性向上

健康経営で解決したい経営課題

- 安全性向上
- 生産性向上
- 組織の活性化
- 持続的成長の実現

経営方針

安全で高品質な建設サービスを持続的に提供し、
地域社会の信頼に応え、企業の持続的成長につなげる。

健康経営の推進方針

当社は従業員の健康と安全を企業活動の基盤と位置づけ、心身ともに健康で安心して働ける職場環境づくりを経営課題として推進します。
とりわけ、重症化予防、睡眠・疲労対策、メンタルヘルス・職場環境の改善を重点領域とし、経営層の関与のもと、方針・指標・施策・効果検証・情報開示を一体で進めることで安全性向上と生産性向上の実現を目指します。

健康経営の目標

- 安全と生産性を支える心身の健康の維持・増進
- 睡眠・疲労・メンタル不調の予防により、就業パフォーマンス低下を抑える
- 相互支援と管理職による健康配慮を通じて、安心して働ける職場風土を形成

KGI（目標年：2030年）

- プレゼンティーイズム（平均SPQスコア）：**87%以上**
- ワーク・エンゲージメント：**56以上**
- 傷病休職者率：**2025年度比で継続的に減少**

組織風土の醸成：健康投資の効果を高める基盤

健康経営の浸透

- 健康経営方針認知率
- 健康施策認知率
- 健康経営納得感・満足度

推進体制・環境整備

- 取締役会の定例運用
- 担当役員の役割明確化
- 管理職研修の実施
- 産業医・保険者との連携体制

職場支援・心理的安全性

- 上司支援スコア
- 同僚支援スコア
- 職場の対人関係ストレス改善
- 心理的安全性の向上